



12 月 12 日同志社大学サッカー部ボランティアによる木津川希少種植生調査保全活動として集草活動実施

昨年は多くの皆さんにたいへんお世話になりました。春秋の講演会にはそれぞれ 200 名を超える参加申し込みを得るなど大規模なとりくみが実行できました。そして会員の減少傾向がしばらく続いてまいりましたが、ようやく底打ちとなって新年こそ「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」のスローガンを真正面に掲げて頑張れる時と考えています。

3 年弱のコロナ渦の中、屋外での活動を中心とする里山の会のイベントを躊躇しなければならなかった苦しさから、ようやく明るい日差しが見え始めてきました。この間に里山農園の丸山の改善、そして白土山への周遊通路の開通と施設充実が進み、心の悩みを持つ人々の癒しの農園として体制が整ってきました。これまでの栽培農園から人間性をとり戻せる憩いの農園への躍進させていける初年度として奮闘しようではありませんか。

2005 年にはじめた木津川でのイタセンパラの復活を目指す取り組みでは、9 月 30 日に外来魚（ブルーギルやブラックバス）の駆除を目的にした第 1 回目の魚釣りには 95 人の皆さんが参加いただき取組に自信を得ることが出来ました。

また同志社大学サッカー部の有志によるボランティア活動として木津川希少種植生調査保全活動として集草活動に 40 名の皆さんが力を貸していただきました。このように若い皆さんとの協力関係も芽吹き始めました。サンライズ財団の環境助成申請にも挑戦しました。

世の中物価高の流れが続き、武力の横行が幅を利かす世界になりつつあるとき、地球環境の悪化が進み秋と春がかすみ異常に暑い夏が続くことになりました。自然を大切にする仲間を多く迎えることが大きな課題となってきています。まさに里山の会の頑張りどころではないでしょうか。新しい今年皆さんのご協力を旧年以上に期待をして新年のあいさつにいたします。

2024 年元旦 理事長 大村幸正 理事一同

●七草摘みと七草粥を楽しみましょう

里山の会の年の始まりは1月6日(土)に行う七草摘みと七草粥の取組みからです。七草の内、昨年から「ごぎょう」が見当たらなくなってきましたが、今年は増えているのでしょうか、少し心配です。

●正月3日は里山の会新年初めての事務局会議です

この日は京田辺市文化協会主催の甘南備登山が9:30に行われます。里山の会が発足間もない時期には、できるだけ多くの人に里山の会の活動を紹介しようと、七草摘みを行うので参加くださいとのチラシを理事さん達が中心になって700人から800人の参加者に配布しました。そしてその足が途絶えた頃から田んぼのもみ殻をまいて車座になって、持ち寄ったおせちで約2時間ほど屋外で里山の会らしい新年会を開き楽しいひと時を過ごしてきたのを懐かしく思い出しました。当時の会計は30万円ほどでしたので、随分とみんなで色々と持ち寄っていました。

●昨年の暮れ24日には里山農園で、イベント納めのしめ縄づくりをしました。

今回は事前の呼びかけを行いませんでしたが沢山のご参加がありました。今回から製作指導をこれまでの大村理事長に加えて太田理事にも加わって頂きました。それで眼鏡型や出雲神社型の中太り方を作り上げた人がありました。約3時間で全くの新人さんお見事に作り上げられました。藁のシビをしっかりとった素材を作ることと手のひらで寄りをしっかりと付けられるかがポイントのようです。コツを飲み込むまでが一苦労のようでした。皆さんはお正月には手作りのしめ縄で新年をお迎えされたことでしょうか。ガイドしたり餅わらを用意したり南天やゆずり葉・だいだいの実などを準備して頂いてありがとうございました。

●今後の予定

- 1月5日 13時00分 七草準備
- 1月6日 9時30分 七草摘みと粥
- 1月13日 13時 zoom 学生の京都観光
- 1月15日 15時 岡崎印刷機展示見学

セリ ナズナ ゴギョウ ハコベラ ホトケノザ スズナ スズシロ

七草摘みと七草粥を楽しもう

2024年1月6日(土)

プログラム

うしほこべ

9時30分 スタッフ集合

10時 普賢寺小学校集合

10時15分 開会挨拶

自己紹介
乾杯

10時30分 七草摘み

11時15分 料理

11時35分 野菜投入

11時45分 七草かゆ試食 華かゆ

12時10分 余興

みどりはこべ

みんなで会場準備 床拭き 机椅子並べ拭き

落羽松 南山郷土 都築の宮 都谷 公家谷

今日の取組の意義と目的
自然を大切にする仲間の輪を大きくする意義

住所・氏名・年齢 新年の抱負

お屠蘇 その狙い **七草衣装に着替えて**

現場で七草の説明 まちがしやすいもの

水洗い 刻み糺の目 囃子歌

みずはこべ

12時30分 閉会

12時50分 集合写真
散会

みんなで後始末

里山の会のぼりファイランソロビー横断幕

自由参加 白土山洞窟探検(30分~60分) 階段あり

七種を刻むときの 囃子言葉

みんなで刻む人を応援する

七種ナズナ

唐土の鳥が 日本の国に 渡らぬ先に あわせて ばーたばた

正月においしい食事で負担がかかっているおなかに一休みの
休憩をさせるために七草かゆでゆとりを持ちましょう

いぬはこべ

いぬはこべ

- 1月18日13時 キャンパスプラザ クビアカツヤカミキリ学習会
 1月20日12時 リーガルロイヤル 京田辺市文化協会60周年記念式典
 2月3日10時 竹蛇籠製作学習会 9:00 京都府環境フェスタ
 2月17日10時 玉水浜 竹蛇籠設置 石詰め作業
 3月2日10時 中の島公会堂 水フォーラム(第26回自然と環境講演会)
 3月22日10時 京田辺市中央公民館 2023年度里山の会第3回理事会



里山の会

会員さんからの

年賀状



謹賀新年

脳梗塞の発病依頼三年目の正月を迎え、今年の二月に八十四歳を迎えます。よくもここまで生きてきたものです。新年にあたりご家族皆様のご健康をお祈りします。振り返れば、二十代は青年団活動を、三十代・四十代は共産党の活動を中心にして、制限時間のない木津川マラソンに全精力を注ぎ続けて、定年後六十代はやましろ里山の会を発足させ、七十代は河川レンジャー活動に邁進し、八十代で脳梗塞を発病して不自由な手と足でハビリに励み、ようやく階段を順番に降りられて、自転車での自力移動が可能になりました。体調回復のスピードは日進月歩ですが少しずつ成長しているようです。しかし杖は放せませんので苦労しています。

今はNPOやましろ里山の会の仲間200人と通常活動を推進しながら、エンジンの竹(真竹)で竹サインペンの製作・普及を目指しています。また木津川で国の天然記念物のイタセンバラ(タナゴの一種)の復元を三十年計画で目指しています。

二十二十四年 元旦

京田辺市東古森十四 山村武正

謹賀新年

新しい年を迎え
 皆様のご健康とご多幸を
 心よりお祈り申し上げます

昨年十月に左記住所に転居いたしました
 ことをご報告いたします
 末筆ながら本年もよろしく願いたします

新居は玉水橋のすぐ近く
 で、中聖牛の設置場所にも
 歩いていきます



昨年は中聖牛を宇治川オープンラボラトリーにも設置しました

百姓はかつて土木工事も請負って
 いました。やましろ里山の会が
 竹蛇カゴや中聖牛の製作設置と
 伝承したことは、百姓魂の復起を意味します。

令和六年 元旦

京都府綴喜郡井手町
 井手辻垣内一〇二
 ルミエール一〇二
 井手 康弘

〒610-0302
 井手 康弘
 E-mail: k-hiro@yamanashi.jp

謹賀新年

旧年中は大変お世話になりました。

里山の会の活動では、木津川希少種植生調査管理業務の刈草集草作業は同志社大学サッカー部の学生たちがお手伝いをしてくれて完了しました。

その他は播川が希少種の管理業務の最中に衝突事故をおこし、里山の会に大変なご迷惑をおかけしました。

今年は、辰年、登り龍のように活動を年なりに頑張っていきたいと思います。

播川 司

今年一年間楽しく元気に過ごせますよう
 十分な睡眠と農園ですごしましょう
 毎週火曜日・土曜日に皆さんウェルカム
 お待ちしています
 里山農園を探索しましょう

森島 保

